

お客様紹介

株式会社パトライト 様

(ISO14001:2015認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄
Hideo Mino

株式会社パトライト様は、1947年大阪市阿倍野区で創業されました。1955年に業界に先駆けて高性能マイクロモータの開発に成功され、1965年にこの自社製モータを使った回転警告灯(パトライト)、パトライト1号機を製造されました。1994年、現社名に変更され、三田工場では2001年、辰野工場は2003年にISO14001を取得されました。光・音による生産現場への情報伝達で、工場のオートメーション化に貢献されています。企業理念にもある「安心・安全・楽々」をカタチにすることにより、新たな付加価値を加味したユニークな製品やソリューションを提供し続けることで、国内市場では約70%のシェアを確立、2020年には経済産業省認定「新グローバルニッチトップ企業100選」にも選ばれ、現在、世界シェアNo.1企業となっています。

前回の再認証審査は、2人の審査員が6日間(三田工場、辰野工場)リモートで行われました。審査では、以下について確認されました。

製品開発においては常に「使いやすさ」を追求、テーマによっては大学等の外部研究機関と協力され、人間工学に基づいた研究を实践。三田工場の隣に研究開発施設「テクノセンター」を設置。研究開発の要として先端技術の追求と新製品開発に取り組むとともに、工場と連携して開発から製造までを一貫体制で実現。ソリューション提案を可能にする技術や製品をスピーディに創出されています。誰もが使いやすく、わかりやすく、人々にやさしい製品づくりを目標に、安心・安全な製品の

開発、生産に取り組まれています。確かな技術開発力から生まれたパトライト製品は、数多くの特許を取得、安全規格をはじめ世界基準の開発体制を構築されています。

モノづくりの現場は大きな変革を遂げようとしています。そんな中、同社



三田工場 (兵庫県三田市)



KASUGAブランドを生産する辰野工場 (長野県辰野町)

では「見える化」技術による情報の「可視化」を促進され、生産の効率化や情報伝達、リモート監視など、あらゆるモノづくりの省力化と安全確保を提供されています。三田工場、東京本社のIoTラボではオンライン見学を実施。三田工場からのライブ配信で自社製品を使った実際の改善活動を成果だけでなく、失敗事例も見ることができ、参考になると好評です。

DX商談ルームである「ソリューションサイト御堂筋」の開設、WEBセミナーやWEB展示会により新たな価値を創出できるソリューション提案を軸に、さらなる技術革新と新製品開発、そしてグローバルスタンダードを確立され、多様化高度化する情報ニーズに応えられています。



最近の主要製品



パトライト1号機



警察車両搭載用の散光式警告灯

<https://www.patlite.co.jp/>